



は、「子育てしやすいまち」の実現に向けて、「中野区次世代育成支援行動計画」を平成17年3月に策定し、さまざまな子育て支援策を行ってきました。今年度で同計画前期の5年間の終了ですが、解決されていない課題も多く残っています。

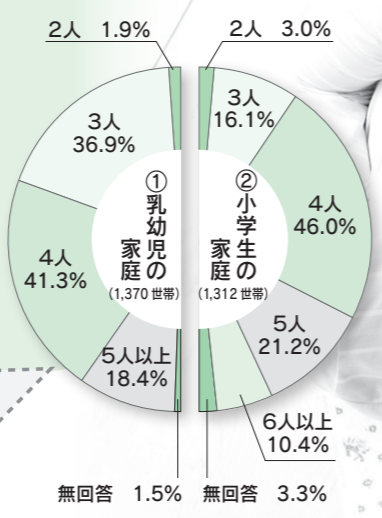
来年度から5年間の「後期計画」を策定するにあたり、子育てに対する考え方やサービスの利用意向などの基礎資料とするため、「子育て支援アンケート調査」を今年1月から2月にかけて行いました。この調査結果などから見えてくる、中野区の子育ての状況についてお知らせします。

☆調査結果報告書および「前期計画」については、ホームページをご覧ください。

元気に 子育てが 育つまち

子ども家庭部経営担当/5階
TEL(3228)8822
FAX(3228)5620

回答者の家族の人数



乳幼児や小学生のいる保護者の方から回答をいただきました

平成20年11月1日現在、区内に住んでいる、①就学前乳幼児②小学生がいる家庭を対象に、それぞれ対象の約2割にあたる①2千2百世帯②2千百世帯を無作為に選り、郵送で調査票を送付・回収しました。

回収した調査票は、①1370票②1312票で、回収率は①62.3%②62.5%でした。

☆集計は、小数点第2位を四捨五入して算出しています。複数回答の設置では、合計が100%を超えています

家族4人で住んでいる家庭が4割強で最多

乳幼児、小学生の家庭とも、両親との同居が8割超、父または母と同居（ひとり親家庭）が1割弱でした。また、祖父・祖母との関係では、同居している家庭が各1割前後、近居（約30分程度で行き来できる範囲に居住）している家庭が各2割強でした（複数回答）。また、祖父母や兄弟を含む同居家族全員の人数は、4人の家庭が最多でした（右掲円グラフ）。子どもが小学生の家庭では「6人以上」の家庭も1割を超えています。

中野区子育て支援アンケート 調査結果に見る中野の子育て

子育ての悩みは、「出費がかさむこと」が最多

子育ての悩みでは、乳幼児・小学生のどちらの家庭でも、約半数が「出費」「安全・安心」「しつけ」を挙げ、上位4位までに入っています（グラフ上）。また、「住居が狭く子育てしにくい」「仕事や自分のやりたいことが十分できない」が共通して上位に挙げられたほか、乳幼児では「食事や栄養」が、小学生では「勉強や成績」の割合が多くなっています。

それ以外では、「食品の安全性」「子どもの病気や発育・発達」「子育てによる精神的な疲れが大きい」をそれぞれ2割前後の方が挙げています。また、乳幼児の家庭では「子育てによる身体的な疲れが大きい」「地域の子育て支援サービスの内容や利用方法が良くわからない」と回答した方が小学生に比べ多く、その他の悩みも多項目に分散する傾向がありました。

一方、小学生の家庭では、比較的上位に回答が集中していました。なお、「特に悩んでいることはない」という方は約6%でした。

子育てについての相談相手は、

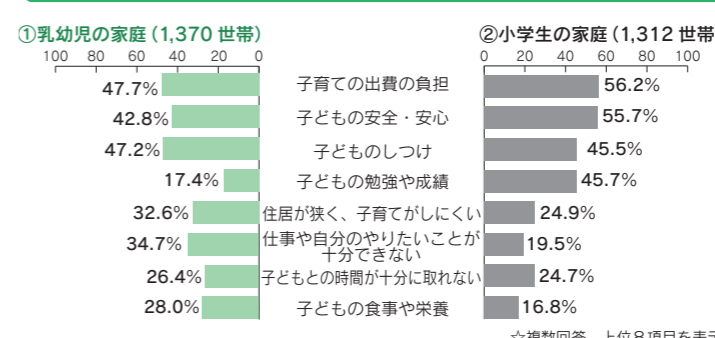
子育ての悩みでは、乳幼児・小学生のどちらの家庭でも、約半数が「出費」「安全・安心」「しつけ」を挙げ、上位4位までに入っています（グラフ上）。また、「住居が狭く子育てしにくい」「仕事や自分のやりたいことが十分できない」が共通して上位に挙げられたほか、乳幼児では「食事や栄養」が、小学生では「勉強や成績」の割合が多くなっています。

それ以外では、「食品の安全性」「子どもの病気や発育・発達」「子育てによる精神的な疲れが大きい」をそれぞれ2割前後の方が挙げています。また、乳幼児の家庭では「子育てによる身体的な疲れが大きい」「地域の子育て支援サービスの内容や利用方法が良くわからない」と回答した方が小学生に比べ多く、その他の悩みも多項目に分散する傾向がありました。

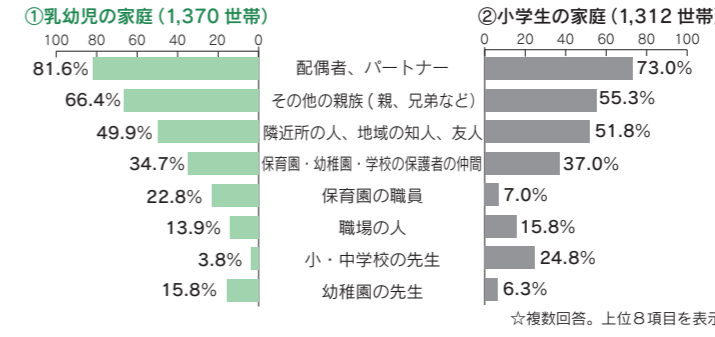
一方、小学生の家庭では、比較的上位に回答が集中していました。なお、「特に悩んでいることはない」という方は約6%でした。

子育てについての相談相手は、

子育てに関して悩んでいること、気になること



子育てについての相談相手



仕事と子育ての両立には、急病や残業へ対応できるサービスや制度のほか、意識の問題も重要

仕事と子育てを両立するうえで大変だと感じていることを聞きました。どちらの年代も「子どもの急病時に代わりに面倒を見る人がいない」が最多で3割を超え、続いて「当日の急な残業」「保育園・学童クラブ等への入園が難しい」といった（下掲グラフ）。

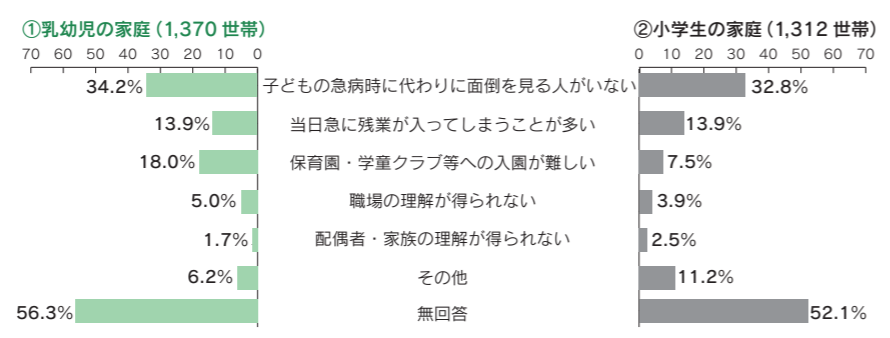
また、「仕事と子育ての両立可能な環境整備をするうえで重要な取り組みは何か」と聞いたところ、「保育サービスの充実（①乳幼児32.0%②小学生21.6%）」「子どもの看護休暇制度（①25.3%②26.5%）」「労働時間の短縮（①20.7%②19.4%）」「在宅勤務やワークライフバランスの推進（①18.2%②19.7%）」など、子育てを支援する制度面の充実が上位を占めました。一方では、「性別役割分業意識の解消（①15.9%②20.5%）」「男性を含めた働き方の見直し（①16.3%②15.8%）」「育児休業等の取得推進（①16.4%②15.5%）」「男性の育児参加の推進（①15.4%②16.3%）」など、子育てに関する意識の変革を求める意見も挙げられました。

仕事と子育てを両立するうえで大変だと感じていることを聞きました。どちらの年代も「子どもの急病時に代わりに面倒を見る人がいない」が最多で3割を超え、続いて「当日の急な残業」「保育園・学童クラブ等への入園が難しい」といった（下掲グラフ）。

また、「仕事と子育ての両立可能な環境整備をするうえで重要な取り組みは何か」と聞いたところ、「保育サービスの充実（①乳幼児32.0%②小学生21.6%）」「子どもの看護休暇制度（①25.3%②26.5%）」「労働時間の短縮（①20.7%②19.4%）」「在宅勤務やワークライフバランスの推進（①18.2%②19.7%）」など、子育てを支援する制度面の充実が上位を占めました。一方では、「性別役割分業意識の解消（①15.9%②20.5%）」「男性を含めた働き方の見直し（①16.3%②15.8%）」「育児休業等の取得推進（①16.4%②15.5%）」「男性の育児参加の推進（①15.4%②16.3%）」など、子育てに関する意識の変革を求める意見も挙げられました。

▲ゲームに熱中

仕事と子育てを両立させる上で大変だと感じていること



◆事前登録制の休日保育をご利用ください

休日に保護者が仕事をするなどの止むを得ない事情で、お子さんを家庭で保育できない場合に、打越保育園で一時的にお預かりします。年度ごとに申請・事前登録をしたうえで、利用日ごとの予約が必要です。詳しくは子ども総合相談窓口/TEL(3228)7867へお問い合わせを。

◆ファミリー・サポート事業「特別援助活動」

4月から始まった事業。「子どもが熱を出したのだけれど、仕事を休めない」という時、お子さんを利用者の自宅で預かります。ファミリー・サポート事業の会員登録後、特別援助活動の利用手続き（年会費3,000円）が必要です。利用料…お子さん1人1時間あたり1,200円 問合せ…ファミリー・サポート事務局 TEL(5380)0752 FAX(5380)0750